

宇・城・久生指研サークル 6月例会の報告

6月9日（木）榎島コミュニティーセンターで開催

テーマは、「こどもたちが集中して話が聞けるクラスって?」

参加者 10人 小 2人 中 7人 その他 1人

若い先生の多くの参加がありフレッシュな例会となりました。

最初の交流で、なかなか授業が成立しない。教師の言うことすべてに反抗したり、指示が通らないという悩みがだされました。生徒達は、しゃべっていたり、立ち歩きをしても悪気を感じない。怒鳴ったところで「何を言うてるんや」という反応。そして、それらに同調する周囲のもの。

こどもたちは、いろんな課題や問題を表出するのですが、生指の方針がなかなかだされない。どうしたらいいのか。ということが論議されました。

さらに市内小学校の低学年実践で若い先生への保護者の批判が大きい中、なんとか授業参観で「授業がみせられる状態」にもっていく

それは、①世論をつくる。～みんなの願いを話し合いこどもたちに決めさせる～②いろんなことを教師が決めるのではなくリーダーに考えさせて決めさせる。③ ゲームなどを通して ○秒集中 私語なしなどにとりくませて、指導一被指導の関係を体感させる。④ 授業でおしゃべりをしたり、課題のあるこどもたちに対して関係性を大切にしながら、生活改善にとりくむ。などの方針をもってとりくみ、一定の授業改善がみられたなどの報告もありました。

いずれも、「先の見通し」をもって個別の課題のみにとられるのではなく、①保護者とのよりよい関係性をつくりながら一事象の報告ばかりに終わらない②子ども達自身の集団のちからを育てながら～リーダー層の組織化 ③教師自身が課題をかかえた生徒との関係性をつくりながら信頼関係を紡いでいくことが大切などの教訓も出し合いました。

宇城久生活指導サークルではサークルのなかでだされたその困難さを分かち合いながら、その困難さを分析し展望をつくっていけるようにサークルで連帯してとりくんでいきたいと思っています。

いろんな課題をもった生徒との関係をどうつくっていけばいいのか。対教師反抗、続出するこどもたちの問題をどう読み取り、とりくんだらいいのか。リーダーをどう育てていったらいいのか。日々の問題にクタクタに疲れておられるみなさん。若い先生も。ベテランの先生も。生徒指導で学校を担われている先生方も。サークルはどなたでも参加することができます。ぜひ、まわりのみなさんとともに一度ご参加ください。

きっと何かが変わります。こどもが変わります。

宇城久生指サークルの

7月例会ごあんない。

「なんでも話せる明日へパワーに」

「楽しくなければ…そしてまじめに」

第 3 回 7月例会

7月6日(水) 19:00～21:00

「クラスの課題をもった生徒とどう関係性をもつのか。～こどもたちの問題の背景にあるものをどう読み解くのか～」 中学校 実践レポートです。

どなたでもご参加ください。一緒に学びましょう。

私たちはいろんな課題をもったこどもたちのこと。こどもたちの見方やいろんな問題がおこったときの対応の方法、そしてクラスづくりについて…リーダーの指導をどうしていったらいいのか。班の生かし方やそして学校づくりの交流や方法など、さまざまな視点や視野を広げていくためにサークルをおこなっています。

若い先生からベテランの先生も。また小学校の先生、中学校の先生もふくめて、いろんな学校の壁をこえて「楽しくなければ集まらない。まじめでなければ続かない」「なんでも話せる。明日のパワーに」と合言葉に楽しく学んでいけたらと考えています。

場所は、榎島コミュニティーセンターです。

宇治市榎島町大川原27-5

国道24号線 うるる手前左折すぐ 右手に海雲亭

サークル連絡先

宇治・久世 生活指導サークル

森岡 (三室戸小) 竹澤 (南宇治中) 戸谷 (宇治中)

問い合わせ 090-9094-3393 森岡

090-8988-0216 戸谷

todayan-yosi@docomo.ne.jp